

# 香川の遺跡から

## たかまつじょうあと 高松城跡

高松城は天正16(1588)年、生駒親正によって築城が始められました。城の周辺には武家屋敷、その外側には商人や職人を集めた町屋、外縁には寺社を配した城下町が形成されました。生駒氏の転封後には松平頼重による城の大改修が行われ、新たに東ノ丸などが築かれました。近年では発掘調査によって、絵図に描かれた道や石垣などの施設が見つかり、その位置や構造が明らかになってきました。

(森下友子)



▲西の丸町地区 西外曲輪北岸の護岸石垣(北東から) ▲県民小ホール地点 東ノ丸北東角の長櫓台から北東に延びる突堤跡(東から)  
中央下方は江戸時代中ごろ(18世紀後半)、中央上方は江戸時代前半(17世紀中ごろ)に築造された石垣  
▲県民ホール地点 東ノ丸築造前の石垣(北東から) 中央の石垣は東ノ丸が築かれる前の石垣 奥・右端の石垣は現在残る東ノ丸の石垣



▲西の丸町地区 鍵形に曲がる道の側溝跡(西から)  
鍵形にがる溝跡(写真左下)が見つかりました。道の側溝とみられ、絵図に描かれた道(絵図○部分)の正確な位置がわかりました。



高松城下図屏風 部分  
(香川県立ミュージアム所蔵)  
画像提供: 香川県立ミュージアム



▲高松北警察署地点(南から) この付近には上級家臣の屋敷地がありました。ゴミ穴から出土した動物の骨などから、上級家臣の食生活の様子がわかりました。  
▲歴史博物館(現在の香川県立ミュージアム) 地点 東ノ丸東端の石垣(東から)



# いにしへの讃岐

NO.116



▲令和5年度讃岐国府跡発掘調査現地説明会の様子



香川県埋蔵文化財センター

〒762-0024 香川県坂出市府中町字南谷5001-4

tel. 0877-48-2191 fax. 0877-48-3249

<https://www.pref.kagawa.lg.jp/maibun/maibun/index.html>

# 分銅形土製品と絵画土器

ふんどうがたどせいひん

## 分銅形土製品

分銅形土製品は江戸時代に使われた分銅と形がよく似ていることから名付けられた弥生時代の土製品です。祭祀道具の一つで、祈りや仮面・護符などに使われたものと考えられています。これらは弥生時代中期から後期（1,700～2,200年前）にかけて多く作られました。西は福岡県、東は三重県・石川県までの遺跡で900点以上出土していますが、分布の中心は瀬戸内地域で、岡山県から全体の半数程度が出土しています。

分銅形土製品には複数の線や刺突による文様があり、粘土紐の貼り付けや穿孔によって立体的に顔を表現するものがあります。また、くびれ以外の形は丸いものや、四角形のものがあります。線や刺突による文様があり、くびれ以外の形が丸いものが一般的ですが、愛媛県・山口県では顔を表し、くびれ以外が四角形のものも多くみられます。

県内では約100点の分銅形土製品が出土しています。龍川五条遺跡、五条遺跡などでは扁平な直方体あるいはしゃもじ形の初期の分銅形土製品が出土しています。これらは弥生時代前期末から中期前半のもので

中期後半から後期前半になると、旧練兵場遺跡などから多数の分銅形土製品が出土します。これらはくびれ以外の部分が丸く、表面には櫛状の工具による複数の線や、刺突による文様があります。綾川河床遺跡（坂出市）などでは立体的に顔面を表現した分銅形土製品が出土しています。

会期 令和6年2月5日(月)～  
令和6年5月17日(金)  
土・日曜・祝日は休館  
会場 香川県埋蔵文化財センター  
第1展示室



▲初期の分銅形土製品  
龍川五条遺跡 普通寺市 弥生時代前期



▲初期の分銅形土製品  
川津東山田遺跡 坂出市 弥生時代中期



分銅形土製品▶  
多肥松林遺跡 高松市 弥生時代中期



▲顔を表現した分銅形土製品

左：綾川河床遺跡 坂出市 弥生時代後期  
右：太田下・須川遺跡 高松市 弥生時代後期



▲分銅形土製品

旧練兵場遺跡 普通寺市 弥生時代中期～後期

## 絵画土器

絵画土器とは人や動物などをヘラなどで描いた土器のことで、弥生時代中期中ごろから後期にかけて多く作られました。絵画土器は西日本を中心に全国で見つっていますが、最も出土数の多いのは近畿地方です。

絵画土器の多くは壺です。画材はシカ・建物・舟が多く、弥生時代の人々には身近なものです。しかし、見たものを平面上に写し描くことができる人はごく少数であり、実際に見たものを描いた土器は弥生時代の人々にとって特別なものであったと思われます。

県内では弥生時代中期後半に久米池南遺跡、旧練兵場遺跡から建物を描いた絵画土器が出土しています。弥生時代後期には太田下・須川遺跡ではシカ、旧練兵場遺跡では龍を描いた絵画土器が出土しています。また、弥生時代後期には記号を刻む土器を含めると、絵画土器は200点を超え、東かがわ市から普通寺市までの35遺跡で出土しています。(森下友子)



▲絵画土器 シカ 太田下・須川遺跡 高松市 弥生時代後期



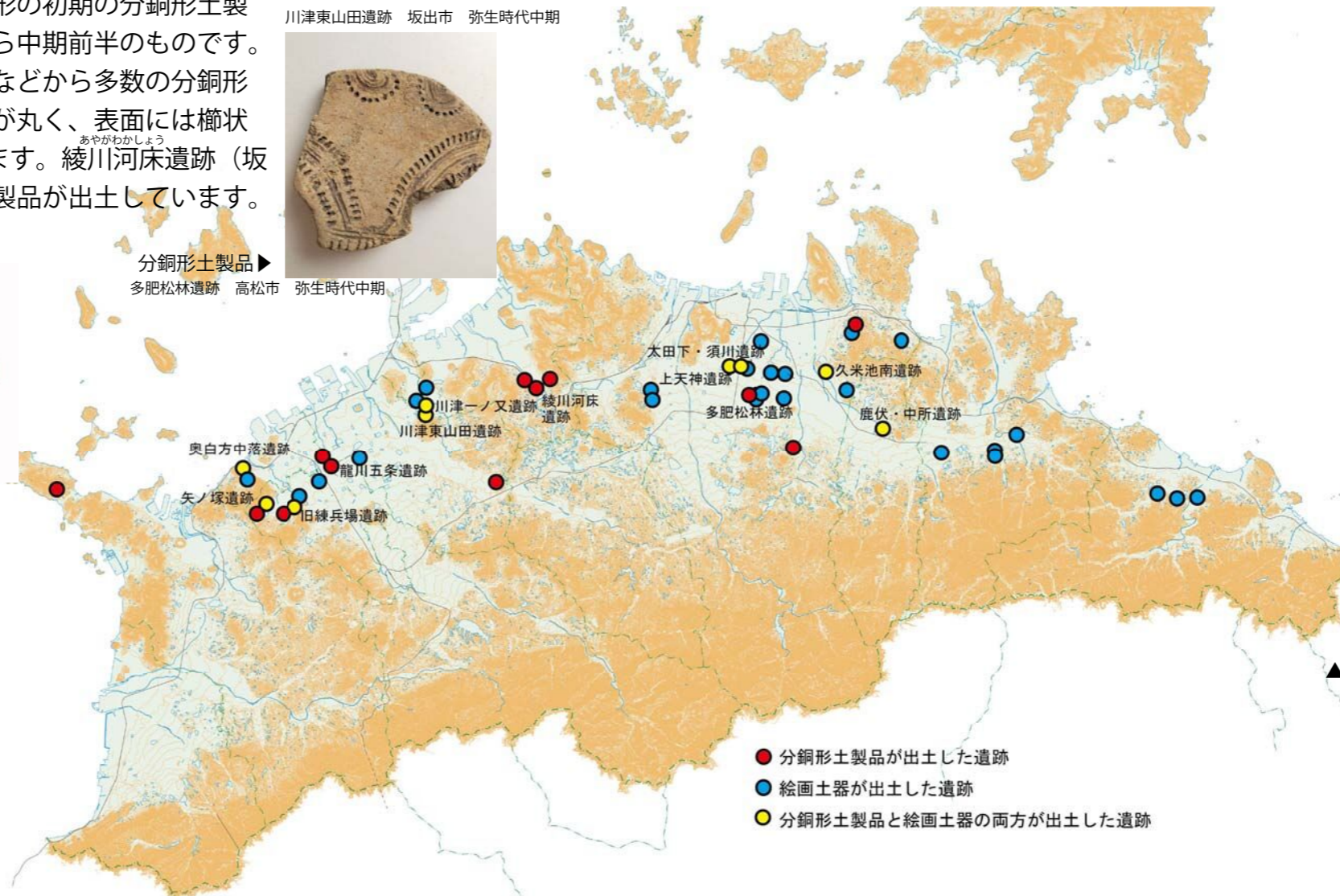
▲絵画土器 舟 旧練兵場遺跡 弥生時代後期



▲絵画土器 建物 旧練兵場遺跡 弥生時代中期



▲絵画土器 弧帯文 旧練兵場遺跡 弥生時代後期



● 分銅形土製品が出土した遺跡  
● 絵画土器が出土した遺跡  
● 分銅形土製品と絵画土器の両方が出土した遺跡

▲分銅形土製品と絵画土器が出土した遺跡